



ケンコーマヨネーズグループ 中長期経営計画策定のお知らせ

発信番号:24-12

ケンコーマヨネーズ株式会社(本社:東京都杉並区、代表取締役社長:島本 国一、以下「当社」)は、2024年度から2035年度までの12年間を対象とする中長期経営計画『KENKO Vision 2035』を策定し、本日開催の2024年3月期決算説明会において公表しましたのでお知らせします。

■中長期経営計画『KENKO Vision 2035』策定の背景

近年大きく変化した社会環境のなか、インフレへの転換による原料や人件費の高騰、日本の人口減少や高齢化、気候変動や地政学的リスク等、当社グループの事業環境も大きく変動しております。当社グループは理念体系の再構築、重要課題の見直しとマテリアリティの特定をし、持続的な成長のための抜本的改革と企業価値の更なる向上を基本方針とした中長期経営計画『KENKO Vision 2035』を策定しました。当社では従来、3か年での中期経営計画を推進してまいりましたが、今回は当社グループのありたい姿を想像し、当社としては初となる長期的視点での12年後を見据えた内容としています。

■企業理念(ミッション+パーパス)とビジョンの再構築

当社は、企業理念として、守るべきものは「心身(こころ・からだ・いのち)と環境」であり、使命は「食を通じて世の中に貢献する。」としております。心を豊かにし、身体を健やかにし、命を守る。プラスして、環境を大切にす。これを、食を通じて実践していくことで、世の中に貢献し、信用・信頼され、存続し続ける会社を目指しています。

中長期経営計画では、企業理念を念頭に置き、『KENKO Vision 2035』の4つの基本戦略の実行と、経営基盤を強化するとともに新たなマテリアリティの取組みを行うこと、また企業活動を実践していくにあたり定めた5つの行動方針(価値観)を意識し、ビジョンである「サラダ料理で世界一になる」を目指してまいります。

■経営目標

財務指標に関しては、長期的視点で2035年度に連結売上高1,250億円以上、連結営業利益75億円以上としました。また、連結営業利益率、ROEの目標を設定し、配当政策についてはDOEの考え方による設定をしました。

ケンコーマヨネーズグループは、今後も社会から信用・信頼され、持続的に成長、発展し続ける企業であり続けるよう邁進してまいります。

中長期経営計画 経営目標



KENKO Vision 2035

持続的な成長のために **抜本的改革と企業価値の更なる向上**を目指す

成長戦略

スマート化

人材投資

サステナビリティと
社会的責任

Phase1 2024-2027

<事業構造の改革>

Phase2 2028-2031

<再成長>

Phase3 2032-2035

<進化・発展>

2027年度 目標

2035年度 目標

財務
指標

連結売上高 1,020億円以上

連結営業利益 33億円以上

株主
還元DOE
(株主資本配当率) 1.5%以上(水準)財務
指標

連結売上高 1,250億円以上

連結営業利益 75億円以上

連結営業利益率 6%以上

ROE 8%以上

海外売上高比率 10%以上

株主
還元DOE
(株主資本配当率) 2.5%以上(水準)

■ Press Release



■4つの基本戦略について

中長期経営計画の4つの基本戦略は、以下の通りです。

4つの基本戦略における基本方針



成長戦略 -Growth Strategy-	スマート化 -Automation and Innovation-
<ul style="list-style-type: none">▶マーケットインの発想による商品開発▶基盤商品をブランディングしながらNB品比率の上昇▶海外比率の上昇▶SNSを活用したEC事業の拡大▶持続可能な原料調達▶新規事業へのチャレンジ	<ul style="list-style-type: none">▶DXの推進（RPA、AIを活用した効率化）▶グループシステムの最適化▶新技術の構築、 生産の合理化・集約化・環境効率化
人材投資 -Investment in People-	サステナビリティと社会的責任 -Natural resource sustainability, Social responsibility-
<ul style="list-style-type: none">▶人材育成の充実化▶育成システムの構築▶働き方改革の実行 (社員のモチベーション・満足度向上)▶ダイバーシティへの対応	<ul style="list-style-type: none">▶サステナビリティ方針に沿ったロードマップと投資の実行▶人を大切にする健康経営の考え方を推進▶地域社会への貢献と共創▶リスクマネジメントの徹底▶コーポレート・ガバナンスの強化

①成長戦略 -Growth Strategy-

これまで築いてきた既存事業を強固なものとするため、改めて商品のブランディングや収益体質の強化を図ってまいります。加えて、持続的な成長・発展ができるよう、「海外事業」や「新規事業」に注力し、事業環境の変化にも対応できる経営基盤を整え、事業ポートフォリオの再構築を行ってまいります。

②スマート化 -Automation and Innovation-

ビジネスの多様化や労働人口の低下による人手不足などの社会的変化に対応するため、RPAやAIの活用による効率化やシステム化を行い、企業改革と生産性の向上を図ってまいります。また生産性の合理化・効率化に向けて、工場再編や生産品目の集約などを行ってまいります。

③人材投資 -Investment in People-

会社の成長とともに、従業員が成長し、健康で充実した日々を送ることができるよう、働き方の見直しやキャリアプランの実現が実感できる研修等の制度の導入を推進してまいります。組織においては、一人ひとりの能力を高め、モチベーションやエンゲージメントが高い状態を維持できるような戦略的な人員配置を行い、当社が持続的に成長・発展し続けるための人材投資を行ってまいります。

④サステナビリティと社会的責任 -Natural resource sustainability, Social responsibility-

地球環境に配慮した事業活動を推進するとともに、地域社会とのかかわりも大切にし、地域活性化への取り組みも推進してまいります。

コーポレート・ガバナンスを強化しつつ、リスク対策や体制の整備等、グループ従業員の健康と働きがいに注力した健康経営を目指しながら、すべてのステークホルダーの幸せづくりに貢献してまいります。

・当社ホームページ「中長期経営計画」：www.kenkomayo.co.jp/company/plan

・2024年3月期決算説明会資料：www.kenkomayo.co.jp/ir/irshiryoku/kessan

■会社概要

社名 : ケンコーマヨネーズ株式会社
代表取締役社長: 代表取締役社長 島本 国一
所在地 : 東京都杉並区高井戸東 3-8-13(東京本社)
創立年月 : 1958年3月
資本金 : 54億2,403万円(2024年3月末時点)
主な事業内容 : マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品、
サラダ・総菜類等の食品製造販売

■報道関係の方のお問い合わせ

経営企画室 広報部 広報課
【担当: 神山 柚香/小林 ゆか】
TEL : 03-5941-7682
FAX : 03-3247-8818
E-MAIL: kouho@kenkomayo.co.jp
URL : www.kenkomayo.co.jp